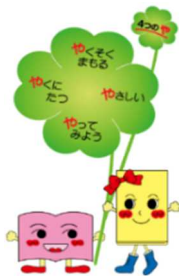


# 図書館だより

NPO 法人はまでら4つのや図書館

第106号 2026(令和8)年3月4日



～「4つのや」… (やさしい) (やくにたつ) (やってみよう) (やくそくまもる) は、  
『図書館訓』、『座右の銘』に…～

館長 由良 芳子



『蠟梅と西洋柊』  
(諏訪森東3丁  
野田様より)

2月の立春直後、大阪でも雪の中の選挙でしたが、会員の皆さまには雪の多い地域の方もおられ、交通にも影響するなどお見舞い申し上げます。この106号が届くころには早春のお天気であればいいなあと考えながら、好きな歌を口ずさみました。「春は名のみ風の寒さや谷の鶯歌は思えど時にあらずと声もたてず〜」歌の題名は「早春賦」(1913年発表)。現在も中学校3年生の音楽の教科書に載っていると浜寺南中学校の上野先生に聞き、嬉しくなりました。

さて、話は前号の続きに戻ります。前号では、当図書館の名前の由来を述べ、歌「浜寺っ子の4つのや」を紹介し、会員の方々の「4つのやの実践」を掲載いたしましたところ、たくさんのご感想を頂きました。今回はお二人のお言葉をご紹介します。

「『4つのや』は、小学生から後期高齢者にまで生きている『図書館訓』ですね(熊本市の池永文浩さん)」「『4つのや』を『座右の銘』にしたいと思います(大阪府高石市の岩田信生さん)」お二人が、前向きなセンスあるキーワードで「4つのや」をとらえて下さり、もったいなく、嬉しく紹介させていただきました。ありがとうございました。このお言葉を芯として4月からの2026(令和8)年度も邁進してまいりますので、皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 「やってみよう」で花めぐりにでかけてみよう 野口 信行(堺市東区)

それは2月のとある朝、校庭に集まった全校児童のみなさんに花めぐりで出会った目白と鶯について月曜朝礼の話をしていた時でした。

「目白(写真)は、雀より一回り小さく、目の周りが白いところから目白と言います。きれいな黄緑色をしていてよく鶯とまちがえられます。アクロバットのようなおもしろいかわらぬでぶら下がって花の蜜を吸っています。みなさんも梅や桜などの花の近くに黄緑色の身体で目の周りが白い小鳥がいないか探してみましょ。見つけたら教えてくださいね。」「ホーホケキョと鳴き声のきれいなのは鶯で、雀よりやや大きく暗い灰色がかかった緑色をしています。鶯は用心深く姿を見るのは難しいですが、私は昨日、山道の脇で鶯が鳴いているのを見ました。鳴き声のする方を見たら高い梢の上でちょうど嘴を開け閉めして鳴いていて、その瞬間を見られてとても感動しました。冬は木の葉が落ちて野鳥の観察に向いています。」「鶯がシーズンで初めて鳴くのは初鳴きと呼ばれていて、桜前線と同じよう鶯前線もあります。ちょうど今、その鶯前線が大阪にさしかかっているの、学校の梅の木にも鶯が来るかもしれませんよ。」と話していたその時、なんとホーホケキョという鳴き声が聞こえてきました。「みなさん、手を耳に当てて春を告げる鳴き声を聴いてみましょう。」と、みんな一緒に鶯の初鳴きに聞き入りました。



朝礼での話は私にとって週1回の授業でした。「ゴミを拾おう」とかというようなお題目だけの話では1年生から6年生までの子どもたちは退屈してしまうので、休日には花めぐりに出かけ、動植物の営みに触れ、季節の移ろいを感じ、人々と触れ合っってその中からお土産(発見、驚き、感動…:話ネタ)ももらってもう四半世紀になります。「やってみよう」の精神で花めぐりに出かけるのは体づくりにもなるし楽しいですよ。

## <書評> ものづくりに生きる

著者 小関 智弘 (岩波ジュニア新書)  
紹介者 高岡 正幸 (千葉県香取市)



四半世紀前に書かれた岩波ジュニア新書である。筆者は半世紀もの間、町工場の旋盤工として働いた。その間体験し、見聞きした町工場の人々の仕事や生活、そして人生を描いた。AIT 全盛の現代人を、日本の今を作った「ものづくり」の世界に誘ってくれる。「技術の伝達者」「プロセスが大事」の項では、現代人にも共通している大切なもののヒントを与えてくれる。コンピューター機能を持った旋盤を使いながらも筆者は自分を旋盤職人と自称する。中学・高校生に最適な本である。※当図書館にいただきましたので手に取ってみてください。



重要文化財の山口家住宅で開催されたさいとうしのぶさんの絵本原画展に行ってきました。江戸時代初期の建物に展示された『あっちゃんあがつく』の絵本原画は、いつもとはちょっと違う雰囲気に含まれていました。

当時の人がこんな楽しい絵本を目にしたら、どんな反応をしたら？と想像しながら一点一点見ていきました。小雨降る中、タイムスリップしたような不思議な感覚を楽しみました。(スタッフ 濱)



## おっちゃんの読み聞かせ

—2026年2月18日(水)—

長谷川琢也さんが今月の「おっちゃん」です。インフルエンザ流行の影響で小学生はほとんど来られませんでした。小さなお子さまと大人のお客様で大盛況でした。紙芝居『おおきくおおきくおおきなあれ』(まついのりこ 童心社)では揃って「大きく大きくおおきなあれ！」と唱えて盛り上がりました。『きれてる』(鈴木のりたけ ポプラ社)はロールケーキの意外な切り方に思わず「ええっ!？」と驚きの声を挙げ、みんなで楽しい時間を過ごしました。(スタッフ 大木)



## お知らせ

申込不要・参加無料

◎大人のための読み聞かせ  
2026年3月19日(木) 11:00~

◎春のおたのしみ会  
2026年3月25日(水) 15:00~  
足立朋子さんによる  
『かんちゃんとおぼろ!』(腹話術)



## 津波避難訓練

—2026年2月15日(日)—

浜寺校区・浜寺東校区合同の津波避難訓練が実施されました。当図書館の『防災・震災コーナー』にある阪神・淡路大震災と東日本大震災の写真集や関連絵本を展示すると、多くの方が手に取っておられました。訓練に参加した子どもたち向けには大型絵本『じんだ!』(国崎信江/白土あつこ チャイルド社)や家族で防災を考えるきっかけになる『ぼうさいセブン』(もとしたいづみ/ふくだいわお/あんどうりす 世界文化社)などを並べました。スタッフも読み聞かせをしましたが、保護者の方が子どもに読み聞かせていたり、小学生低学年の子が妹や弟に読んであげたりと、予想を超えた光景が見られました。難しい問題はたくさんありますが、避難所に絵本のコーナーや子どもたちが集まれるスペースは必要だと、改めて思いました。(スタッフ赤堀)



俳句ができたよ・きらり十選 百六号  
令和八年三月四日

## 兼題「雛祭」

次回(五月)の兼題は「ぼうれんそご」または自由  
\*投句締切 四月一日(水)

- あゝの雛壇仮設から家へ帰りしか
- 三世代繋ぐ幸せ雛祭
- 雛めぐり平和を願う優しい目
- あやかっ酒を呑むなり雛祭
- 雛祭幼き頃を今思ふ
- ひな祭り父は毎年カメラマン
- 園児らの雛段飾りすまし顔
- 睡まじき土鈴を鳴らす比翼雛
- 雛飾る浮かぶ幼き顔と声
- 吾の歳に追いつかぬ雛掛軸に

勝義 ひとみ 昭義 直子 幹子 雅子 文子 雅子 芳子

## 2026年3月・4月・5月の開館日時

どなたでもご利用いただけます。

### ◎水曜日14時~17時

3月: 4日・11日・18日・25日  
4月: 1日・8日・15日・22日・29日休  
5月: 6日休・13日・20日・27日

### ◎木曜日10時~17時

(第2・第4木曜日 12時~)  
3月: 5日・12日・19日・26日  
4月: 2日・9日・16日・23日・30日休  
5月: 7日・14日・21日・28日

## 2026年度 NPO 会員募集

2026年4月~2027年3月の会員を募集しています。図書館でも受け付けます。

ご支援よろしくお願ひします。

協力会員 1口 1,000円/年  
賛助会員 1口 3,000円/年  
正会員 1口 5,000円/年

口座名: NPO 法人はまでら4つのや図書館


◎ゆうちょ振込先 00950-9-171544

\*払込票にご住所・お名前・お電話番号・会員種類をご記入のうえ、できるだけATMをご利用ください。

◎楽天銀行 支店番号 253  
普通 7225222

\*お名前の後に会員種類をご入力ください。



公式LINE →   
URL yottunoya-library.com  
Mail yottunoya@hotmail.com

所在地: 〒592-8348 堺市西区浜寺諏訪森町中1丁103-1(浜寺校区文化会館内)南海本線諏訪ノ森駅東側線路沿北へ

連絡・・・警報(暴風、洪水、津波、)が発令されたときは図書館は休館します。会館に掲示ができない場合があります。

# 2026.3月の新着本より

版元ドットコム・Amazonより引用しています。  
当月の新着本リストと紹介文の一部は図書館内に掲示、またはホームページにてご覧いただけます。

# 2026.4月の新着本より



## もういっかい ブリック・テックトラップ / 木坂涼

大きなハリネズミと小さなハリネズミが冬眠から目を覚ましました。春がやってきたのです。小さなハリネズミが駆けだしてブランコにとびのると、大きなハリネズミがブランコを押してあげました。すると、小さなハリネズミは、「もういっかい、もういっかい！」それから丘を転がって、テントウムシやカメヤリスやネズミたちに出会って、夢中になって遊びました。子どもたちに、夢中になる喜びとともに、心の安らぎを届ける絵本です。



## おにぎりずかん めざせ！おにぎりマスター 新井洋行 / 田中六大 / 中垣ゆたか

「おにぎり」についてもっと知りたい。そしておいしくにぎりたいたい！ただその思いだけで、伝説のおにぎりマスター がいるという「おにぎり道場」の門をたたいた、むすびちゃん。そこで出会ったのは、きびしくもあたたかい、まるでおにぎりのようなマスターだった。はたしてむすびちゃんは、おにぎりクイズをクリアし、おにぎりラップを無事歌いあげ、おいしいおにぎりをにぎることができるのか！？

## 味わい深くてためになる 教養としてのチョコレート 市川歩美

日本唯一のチョコレートジャーナリストが伝えたい世界中で愛されているチョコレートの「意外な秘密」！一粒のチョコレートには、こんなにも魅力的な物語と歴史が秘められています。身近なのに意外と知らないチョコレートの教養、健康効果、歴史、カカオの謎を、チョコレート専門家がわかりやすく解説します。チョコレートの本当の姿や素敵な一面を学べる一冊です

## かんむり 彩瀬まる

虎治と光は元同級生。夫婦になり子供を持ち家族になった。言葉と体と時間を重ね、時にぶつかりながら同じ方向を見て進んでいると、それが夫婦だと思っていた、けれど。子育てへの意識の違い、自分の体への戸惑い、若い、子離れ。こんなはずじゃなかった——私の“かんむり”は一体どこにあるのか。どうしようもなく別々の体を生きる、夫婦の物語。



## 涙の向こう、君と見る桜色 水瀬さら / はなこ

小学校の時、病院で出会った男の子と、退院してからもずっと文通を続けていた美桜。高校生になって再会すると、手紙と写真から想像した通りの、サッカーが大好きな優しい男の子になっていて、どんどん心が傾いていく。でも、手紙で交わした思い出話もはずむのに、言葉やしぐさに、どこかひっきりかきを感じる美桜。どうしてなんだろう？「ずっと仲良くしてね」と指切りで交わした幼いころの約束が、切なくもやさしい涙を呼び、とびきりのピュアラブストーリーです。



## 全国小学生おばけ手帖 ウワサの幽霊編 田辺青蛙 / 岩田すず

ホラー作家の田辺青蛙が子どもたちから聞き集めた不思議な話やこわい話、全33話をまとめた、小学生実話怪談集。マンガ家の岩田すずが、迫力がありながらもほっこりするゆかいな挿絵とともに再話し、臨場感たっぷりで、読書が苦手でも楽しくどんどんページをめくりたくなると大人気のシリーズです。今回は、みんなが学校でウワサしている幽霊たちのお話を集めました。つつい聞きたくなくなるこわいウワサ話がもりだくさんです。

## たい焼き・雑貨 銀座ちぐさ百貨店 江戸切子のロックグラス 長月天音

祖母の美寿々から孫の綺羅へと代替わりした「ちぐさ百貨店」は、雑貨を売る傍ら尻尾に秘密が隠された美味しいたい焼きも販売している。餡子以外の新作たい焼きを作ろうと奮闘するアルバイトの葵だったが、商社を辞めてたい焼きを焼いていることは家族に話せないままだった……。猫目石のペンダント、アンティークのマドレーヌ型、ピアグラスに江戸切子のロックグラス。雑貨が人と人を繋ぐ、心温まる再生の物語。

## 4月1日のマイホーム 真梨幸子

東京都S区に分譲住宅「畝目(うねめ)4丁目プロジェクト」。念願の新居に胸膨らませ引っ越してきた住人たちが、ある家から死体が見つかった。ここにはかつて、往年のスター・末唯紗英子が建てたアパートメントがあり、大量殺人事件が起きたという噂が——。土地の因縁か、事故物件か。読みだしたら止まらない、中毒度100パーセント・ミステリー！



## ズートピア2 ディズニーゴールド絵本

警察学校を無事卒業し警察官となったニックと、ウサギ初の警官として以前にもまして熱心に任務に挑むジュディは再びパディを組むことに！ある日、ズートピアに突如現れたヘビ・ゲイリーをきっかけに、ジュディとニックはズートピアの過去の歴史にまつわる巨大な謎に挑むことになる。そこでジュディとニックふたりの絆もこれまで以上に試されることになるのだが…？ウォルト・ディズニー社のアーティストが、映画公開に合わせて描き下ろした貴重なイラストを使って小さなお子さま向けに構成した絵本です。



## 花に風 吉野万理子 / あわい

夏帆(かほ)は小学校4年生。最近、いけばな教室に通いはじめた。いけばなは楽しいけれど、教室にはちょっと苦手な6年生のせんぱいがいる。夏帆はせんぱいから、花のいけ方を修正され、教室での態度がよくなると注意され、なんだか面白くない。そのころ、夏帆の両親も、仕事上のパワハラをうけていた。夏帆ははじめて上下関係のむずかしさを経験しながらも、生け花を通して、新しい仲間と、新しいアイデアでつながっていく。小学校中高学年向けのさわやかな児童小説。

## 銀の猫 朝井まかて

嫁ぎ先を離縁され、母親と暮らすお咲は、年寄りの介護を助けるプロの介抱人。誠心誠意、年寄りに尽くすお咲のもとにはさまざまな依頼が集まる。多くの病人に出会いながら、逝く人に教えられたことがお咲の胸に重なってゆく——江戸に暮らす家族の悲喜こもごもを、介護という仕事を通して軽やかに深く描く、傑作長編小説。

## 新しい花が咲く ほんほん彩句 宮部みゆき

寿退社後に婚約破棄されたアツコが、行く当てもなく乗り込んだ路線バスの終点で見たもの。学級閉鎖で留守番中のアタル君が巻き込まれた不可思議な事件。自殺同然の事故で兄を亡くした妹が、偶然出会った女子中学生。俳句から着想を得て生まれた物語は、十七音の枠を超え、色彩豊かな無限の世界へ広がってゆく。人生の機微を掬い取るように描く、怖くて、切なくて、涙を誘う、極上の短編集。



## おばけのリープル あの子はともだち? おおぎやなぎちか / ヒダカナオト

おばけのリープルにはたぶん友達がいません。いつもうるさいカラスのカー吉、人間のおじいさん、おっちょこちょいなたぬきのゴロー…もしかしてみんな友達なのではないでしょうか？苦手だと思っていた友達がちょっぴり好きになったり、友達になるまでの気持ちに気付いたり。はじめてのひとり読みにぴったりな、やさしいファンタジー。



## ねぎのねぎしくん 戸森しるこ / 伊野孝行

このユニークな童話はこんな人におすすめです！  
●かっこいい生き方を知りたい！  
●モノにも、実は心があると信じている！  
●まだまだ知らない世界があると思っている！  
●個性的な友だちが欲しい！  
少年がまちかどに落ちたねぎを拾おうとすると、低く落ちついた声のねぎのねぎしくんに出あいます。「ネギとして食べられたい」というネギの声を少年は聞き届けて・・・はたして、ネギの運命はいかに！？

## とりぶるばーば 水曜日のかれーらいす 佐々木禎子

札幌で居酒屋を営んでいた桃子の夫が亡くなって一年。「子ども食堂」だけ細々と続けていた桃子のもとに、元キャリアウーマンの百合、夫婦二人で暮らしていた澄子が訪れる。中学時代からの親友たちもそれぞれの人生を歩み、気がつけば皆、67歳になっていた。そして、桃子は二人の提案で、彼女と夫と一緒にやっていたお店を再開することにする。リニューアルしたお店では、北海道の旬の食材を用いつつ、手軽に作れるリーズナブルな家庭料理を提供。食べに来たのは、乳がん手術後の女性や、今の世の中についていけない高齢男性、近所の小学生たち。皆、それぞれ悩みや不安を抱えていて……。

## プラスチック 井上夢人

54個の文書ファイルが収められたフロップイがある。冒頭の文書に記録されていたのは、出張中の夫の帰りを待つ間に奇妙な出来事に遭遇した主婦・向井洵子を書きこんだ日記だった。その日記こそが、アイデンティティーをきしませ崩壊させる導火線となる！謎が謎を呼ぶ深遠な井上ワールドが展開するサスペンスミステリー